|  |
| --- |
| **学校経営推進費　事業計画書**  |
| **１．事業計画の概要** |
| **学校名** | 大阪府立花園高等学校 |
| **取り組む課題** | 授業改善への支援（生徒の学力の充実） |
| **評価指標** | 1. 学校教育自己診断における生徒の授業満足度の向上
2. 学校教育自己診断における生徒の主体的な探究的学習活動の意欲向上（主体態度の評価）
3. 外部機関の客観的学力診断テストにおける学力の向上（知識及び思考力・判断力・表現力の評価）
4. 希望進路実現率の向上（国公立大学及び難関私立大学進学者数の増加）
5. 読書活動（年間読書冊数）の向上
 |
| **計画名** | 学びの劇的改革！「花園高校図書学習情報センター」の設置　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　～「情報発信スタジオ」及び「校内教育資料横断検索システム」の整備～ |
| **２．事業計画の具体的内容** |
| **学校経営計画の****中期的目標** | **１．学び続ける意欲と態度、確かな学力の育成**（1）授業力向上の取組みイ 「観点別学習状況の評価」を進め、生徒を中心に据えたビジョンを共有し、計画・実践（指導）・評価・改善（ＰＤＣＡ）を繰り返し、不断の授業改善に取り組む。（2）学習到達度の把握と学力伸張の取組みア １年次から学力生活実態調査、模擬試験等を利用して学習到達度を把握し、教科・学年・分掌が協働して基礎学力定着と応用的学力伸長に取り組む。（3）自学自習の習慣を確立する取組みイ 小テスト・朝学・補習・講習・週末課題など、これまでの教育実践がより効果的な学習になるようにＩＣＴを取り入れ、学習動画配信やオンライン学習の開発・実践に取り組む。　　ウ 読書活動によって教養を身につける経験をさせ、自主的な読書活動を支援する。※「生徒向け学校教育自己診断（以下生徒自己診断）」において、令和５年度までに「教え方に工夫をしている先生が多く、授業は分かりやすい」78％以上（Ｒ２：75％）、「授業・補習を通じて、進路に必要な学力を得ることができる」90％以上（Ｈ30：85％、Ｒ１：88％、Ｒ２：86％）、「宿題・予習・復習など、家庭学習の習慣がついている」60％以上（Ｈ30：49％、Ｒ１：42％、Ｒ２：56％）、また、令和５年度に読書を３年間で10冊以上の生徒80％を達成。**２．将来を見据えた進路を切り拓く力の育成**（２）探究的学習の推進イ 「総合的な探究の時間」や「花園進路探究プログラム」等で自発的に学び探究する能力を引き出し、全生徒が探究活動を通じて成長した実感が持てるよう指導する。ウ ＳＤＧｓに係る探究活動において、当事者に共感し、真に当事者意識を持って課題解決する能力を養い、未来を創造する力を育成する。* 生徒自己診断において、令和５年度に「探究的な学習を積極的に取り組む」80％以上（Ｒ２：68％）、「自分の進路についてしっかりと考えている」80％以上（Ｈ30：77％、Ｒ１：77％、Ｒ２：75％）、また、第一志望大学への進学率70％以上を達成する。
 |
| **事業目標** | **薄暗く閉塞感の強い図書館を、光と風の通う明るく開放感のある空間にデザインし、以下の機能を持たせる。**１ 「第４次大阪府子ども読書活動推進計画」に則り、本校が積極的に取り組んでいるSDGｓ探究活動や進路探究学習に読書活動を積極的に取り入れ、インターネットによる情報のみに頼らない、確かなエビデンスに基づく探究的学習を実践する。キャリアパスポート等に反映し、自らの進路を切り拓く力を育成する。２ 「情報発信スタジオ」を整備し、教員によるオンライン教材の開発に資するとともに、国内外複数地域との同時接続による交流、本校舎普通教室へのライブ配信などの機能を授業等で積極的に活用し、生徒の思考力・判断力・表現力及び主体態度を養う。同時に撮影した動画をアーカイブ化し学習教材として活用する。（グループ単位の高度なweb交流や発表準備の場としての活用を主とする。クラス単位でのweb交流はcall教室、学年単位でのweb交流は普通教室同時接続で実施し、使用用途の棲み分けを行う。）３ 「校内教育資料横断検索システム」を構築し、図書館や各教科準備室保管の書籍、探究発表や学校行事の映像や文書、各教科等の学習動画（授業、進学講習、人権学習、防災教育など）をアーカイブ化し、本校での日々の教育活動の全容を横断的に関連付けて、検索・閲覧できる「情報センター」をつくる。また、各資料には資料管理者や教員が付ける検索タグの他に、生徒が記述可能なタグ領域を用意し、資料の有機的な結合を促進する。４ 生徒にとって様々な情報が収集でき自学自習の学習環境を飛躍的に向上し、居心地の良い学びの空間を実現する。 |
| **取組みの概要** | **整備する****設備・物品** | 図書館への情報発信スタジオの設置（超短焦点プロジェクタ、電子黒板、無線LAN）、撮影・音響機材、書架、書籍、ミーティングテーブル |
| **取組内容** | **前年度** | * 情報化推進部の設置（組織体制の整備）
* 学習動画教材の開発・運用（生徒への配信）
* 日々の本校教育活動の全容がわかる写真付き記録一覧の作成（授業、学校行事、探究活動、国際交流など）
* 観点別学習状況の評価に係る職員研修２回（全体研修及び各教科授業開発及び試行準備）
* 図書館蔵書整理及び大規模整備計画の立案
* 自学自習を習慣づける「朝学ワーキンググループ」の設置
* スピーチコンテストの普通教室へのライブ配信（call教室使用）
* 海外高校生徒のweb交流（10回）
 |
| **初年度** | 【１学期】各教科学習動画の作成及びアーカイブ化、図書館書籍の大規模整備、読書啓発キャンペーン、「朝学」の実施【夏季休業中】図書館改修、学校行事動画資料のアーカイブ化、「花園探究プログラム」での外部講師招聘講座をweb講座に切り替えて実施【２学期】「総合的な探究の時間」等での利用開始、１人１台端末から図書学習情報センターベータベースにアクセスし図書館利用を誘導。【３学期】本格的運用に向けた「校内教育資料横断検索システム」の構築、１・２年次でのSDGｓ探究発表大会、生徒発表の普通教室ライブ配信の実施、取組みの評価の分析、次年度計画策定 |
| **２年め** | 【１学期】図書学習情報センター利用ガイダンス（全学年）、センターを利用した授業改革に係る職員研修の実施【夏季休業中】情報検索コーナーの整備（図書館）、読書マラソンの実施【全学期】進路探究学習、授業実践、オンライン動画撮影、学習教材資源のアーカイブ化、読書啓発活動の推進、高大連携web講座、地域連携、国際交流への積極的活用、フレキシブルな学習活動空間としての開放（図書を利用したパフォーマンス課題学習の推進）【３学期】取組みの評価の分析、次年度計画策定 |
| **３年め** | 【１学期】図書学習情報センター利用ガイダンス（１年、新転任教職員）【全学期】生徒によるライブ配信の積極的運用、地域連携・高大連携・国際交流への活用の定着、SDGｓ探究学習における「学びの質」の飛躍的向上の実現→２年次発表会（コンペティション）の公開、ビブリオバトル（web開催）の実施（１年次）【３学期】取組みの評価の分析、次年度計画策定、３年間の取組みの成果発表会（教職員対象公開） |
| **取組みの****主担・****実施者** | 主担： 校長、教頭、情報化推進部、文化国際部、「総合的な探究の時間」検討委員会実施者: 全教職員、各教科（国語、社会、数学、英語、保体、理科・芸術・家庭・情報） |
| **成果の****検証方法****と****評価指標** | **初年度** | 1. 学校教育自己診断における生徒の授業満足度「授業・補習を通じて自分の進路にとって必要な学力を得ることができる」の肯定的回答88％
2. 学校教育自己診断における生徒の主体的な探究的学習活動「私は探究的な学習を積極的に取り組んでいる」の肯定的回答70％
3. 外部機関の客観的学力診断テストにおける学力（２年次２回め）B2以上30％、B3以上70％
4. 第一希望進路実現率65％、国公立大学及び難関私立大学（関関同立・産近甲龍・関西外大・京都外大）合格者80名
5. 年間読書冊数10冊以上の生徒40％
 |
| **２年め** | 1. 学校教育自己診断における生徒の授業満足度「授業・補習を通じて自分の進路にとって必要な学力を得ることができる」の肯定的回答89％
2. 学校教育自己診断における生徒の主体的な探究的学習活動「私は探究的な学習を積極的に取り組んでいる」の肯定的回答75％
3. 外部機関の客観的学力診断テストにおける学力（２年次２回め）B2以上35％、B3以上75％
4. 第一希望進路実現率70％、国公立大学及び難関私立大学（関関同立・産近甲龍・関西外大・京都外大）合格者100名
5. 年間読書冊数10冊以上の生徒60％
 |
| **３年め** | 1. 学校教育自己診断における生徒の授業満足度「授業・補習を通じて自分の進路にとって必要な学力を得ることができる」の肯定的回答90％
2. 学校教育自己診断における生徒の主体的な探究的学習活動「私は探究的な学習を積極的に取り組んでいる」の肯定的回答80％
3. 外部機関の客観的学力診断テストにおける学力（２年次２回め）B2以上40％、B3以上80％
4. 第一希望進路実現率75％、国公立大学及び難関私立大学（関関同立・産近甲龍・関西外大・京都外大）合格者120名
5. 年間読書冊数10冊以上の生徒80％
 |